

# 松陵

能代高等学校同窓会  
事務局  
能代高等学校内  
能代市高橋2-1  
TEL 0185-54-2230  
題字は神馬会長

## 「同窓会会員の皆様へ」



同窓会会長  
神馬 恒成  
(第九期)

寒冷の候、同窓生の皆様にはい  
かがお過ごしのことでしょうか。  
日頃より多大のご協力を賜り厚く  
御礼申し上げます。  
さて、母校におきましては秋元  
校長先生のもと、諸先生方のご努  
力によって着々成果を上げてきて  
おります。

部活動においては、柔道部が三  
十五年振り二回目の、また伝統の  
体操部も七年振り二十六回目の、  
インターハイ出場を果たしまし  
た。硬式野球部・軟式野球部・山  
岳部はあと一步というところで全  
国大会出場を果たすことができま  
せんでしたが、その健闘ぶりは本

校関係者に熱い感動を  
呼んでおります。

また、進学面におい  
ても、年々その向上の  
跡著しく、国公立大学  
合格者が実数で四年連  
続して百名を越えるな  
どの実績をあげ続けて  
おります。

まさに「文武両道」  
の校是に恥じない活躍  
に、同窓会としても誠  
に嬉しく存じておると  
ころです。

さらに、同窓会の活  
動も次第に活発になっ  
てきております。同窓会費の納入  
者数が増加し、また各支部・各期  
の活動も次第に盛んなものとなっ  
てきております。また、役員会と  
しても事務局と共同して、入学  
式・卒業式等の学校行事を通じて  
母校との繋がりをいよいよ強めて  
きているところであります。今日の母校  
の隆盛に、わが同窓会としてもい  
ささかの貢献をしているものと存  
じ、会員の皆様共々喜びあいたい  
と存じております。

母校の発展と会員皆様のますま  
すのご健勝を祈念し、同窓会誌  
「松陵」発送に添えるご挨拶とい  
たします。

この頃、歳のせいだろうか、「日本  
の抒情歌」を聞きたいと思うことが多  
い。ある休日、のんびり聞きながら解  
説書を見ていたら「岡野貞一」という  
名前が飛び込んできた。どこかで見た  
名前だが思い出せない。しばらくして、  
本校の校歌の作曲者である  
ことを思い出した。

秋田県立能代中學校校  
友會発行の「校友會誌」  
第二号（第一期生畠山哲  
也氏から拝借）によると、  
校歌は大正十五年七月制  
定を決め、「歌詞は知名の  
大家に作って貰ふ事とな  
った。そして運びあげら  
れたのが現代の國文學の  
大家、東京帝大の藤村作  
博士である。曲も先生の  
御知り合ひの音楽校教授  
岡野貞一先生に藤村先生  
から特に御願ひして下さ  
って、今のような立派な  
歌詞と曲、かみしめれば  
かみしめる程、妙味津々  
たるものが出来たのであ  
る。」（原文のまま転載）と書かれてい  
る。

本校の校歌がどうして藤村教授の作  
詞であり、岡野教授の作曲によるもの  
なのか、その謎を知りたいと思ってい  
たので、校友会誌第二号を拝借できた

## 校歌について

学校長 秋元正英  
(第二十七期)



ことはありがたかった。  
藤村教授は本校に勤務していた今福  
兼藏先生の東大時代の恩師にあたる方  
で、今福先生が藤村教授に能代の様子  
を語り、更にメモしたものを渡して出  
来上がったのが「そのかみ遠し 数千  
年 尽きせぬ流れ 米代の」  
の校歌歌詞である。

岡野さんは明治十一年（一  
八七八年）鳥取市に生まれ、  
明治二十九年（一九〇六年）  
東京音楽学校（現在の東京芸  
術大学音楽学部）に入学、同  
校卒業と同時に研究科に入り、  
明治三十八年（一九〇五年）  
助教となり、文部省唱歌編  
纂委員となり、次々と唱歌を  
作曲、大正十二年（一九二三  
年）教授に昇任、昭和十六年  
（一九四一年）急性肺炎で死去。  
享年六十四歳であった。ちな  
みに、滝廉太郎は音楽学校で  
岡野さんの三学年先輩であっ  
た。

岡野さんが作曲したものに、  
臘月夜 ♪葉の花畑に入り日薄れ  
春が来た ♪春が来た春が来た  
故郷 ♪うさぎ追いかの山  
紅葉 ♪秋の夕日に照る山紅葉  
等がある。  
本校校歌の秘話の一説である。

## 平成9年度能代高校同窓会 新年会のご案内

- ◆日時  
平成10年1月31日（土）  
午後3時（受付2時半より）  
◎午後3時～講演会  
・講師  
柴田寛彦氏（第37期）  
・演題  
「生と死のはざま」  
◎午後4時30分～懇親会

- ◆会場  
金勇（能代市柳町）  
電話（0185）55-3355

- ◆会費  
4,000円（当日持参）  
\*今回の当番幹事は、27期  
（新9）と37期（新19）です。  
\*参加申し込みは下記へご連  
絡下さい。

能代高校同窓会事務局  
（能代高校内）  
電話（0185）54-2230

# 支部だより

## 北海道支部

### 「能代高校北海道同窓会の近況」

三浦通義（第二十八期卒）

当支部は初代皆川支部長二代目畑江支部長に引続き、昨年の北海道支部同窓会開催を機に第三〇期卒の佐藤満徳支部長と、支部役員は三〇歳台より五〇歳台と大中若返りとなりました。事務局が現在確認出来る会員数は九十八名であります。



六月初四日（土）六時から札幌植物園向いのフジヤサントスホテルで二十二名の出席で盛大に開かれました。本部から秋元校長先生、花下同窓会副会長等の出席をいただ



き母校の近況をお話しいただき、ふるさとを久し振りで思い出し懐かしんだ次第です。

昨年出席いただいた旧制二期卒で小樽市で現役の内外科医院を開業の皆川大先輩は体調の関係で出席い

ただけませんでした。旧制四期卒で秋田県人会会長の畑江道俊先輩を始め、今年の新制十期卒の水木初彦氏等々楽しいひとときを過ごしたことから来年の開催を誓いましたことをご報告いたします。今後共宜しくお願い申し上げます。

## 秋田支部

### 「意気さかな同窓会」

藤本光男（第十五期卒）

現在秋田市在住の同窓生は八百名を数え、各分野で活躍しておりますが、本年十月十七日開催の総会には例年百名をこえる参加

者が六十名とややさびしい総会となりました。しかし、十五期生佐々木満参議院議員も四年ぶりに出席。神馬同窓会長、秋元校長先生の母校の文武両道にわたる活躍の近況報告をうけ、校歌



懇親会では意気軒昂、各テーブルで新旧校友の笑いにつつまれた交歓がおそくまで続きました。

### 県庁能高会

## 「フレイフレイ我らが母校」

森 田 新一郎 (第四十期卒)

県庁能高会の会員数は二八〇人、それぞれが全国第六位という広大な面積の津々浦々で、秋田県の発展のため日夜頑張っております。組織的にも北の鹿角支部から南の雄勝支部まで、全県的に整備されております。会の活動は、春の総会と冬の新年会、



定期的な運動部への後援などでありますが、愛校心が強い会員が多いためか、硬式野球部の試合などでは、平日にも関わらずたくさんの方の会員の応援する姿が見られるほどです。今後とも母校の隆盛と会員の融和促進を

願って邁進したいと思います。

### 近畿支部

## 「関西へ来てる同窓生の御連絡待ってます」

堀 松 征 記 (第二十七期卒)

参加人数が少ない為、野球の応援時に同窓会を開いておりますが今年も残念な予戦敗退の為、同窓会も出来ませんでした。常時参加される十数名の結束は固いのです

が、御多分にもれず老齢化しております。出来るだけ若い人の参加が望ましいのですが情報もなく歯がゆい思いをしております。今国体も大阪で開催されましたが、情報不足の為応援出来なかつた事等課題はあると思われれます。本部よりの情報を希望します。

### 能代市役所能高会

## 「会発足四十周年の記念の年」

安 岡 義 則 (第二十七期卒)

能代市役所能高会は、昭和三十二年発足、今年丁度四十年という記念の年にあたります。会員は二百五十三人で市役所内では最大の同窓会組織となっております。

以前は男子会員が大部分でしたが、最近では女性会員も増え、過日開催された総会後の懇親会には一層の彩りを添えておりました。

事業としては、年一回の定期総会のほか、会員への慶弔、母校への賛助・協力支援が主たるもので、今年も男子柔道部のインターハイ出場に若干の寄付をさせていただきました。

今後、母校の発展と会員の親睦を願って、会の運営に努めたいと思っております。

# 平成9年度 総 会

9月26日（金） 於金勇

事務局だより



総会で議案審議



挨拶する神馬恒成会長

懇親会に先だって 校歌斉唱

## 同窓会会計報告

(平成8年9月1日より平成9年8月31日まで)

### I. 経常費 収入の部

項 目	8年度予算額	8年度決算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	592,498	592,498	0	昨年度報告
2 入会金	1,526,400	1,526,400	0	4,800円×318名
3 会 費	1,200,000	2,097,050	897,050	
4 寄付金	1,000	0	▲1,000	
5 その他	1,000	384	▲ 616	預金利息
合 計	3,320,898	4,216,332	895,434	

差引残高

収入4,216,332-支出3,835,496=差引残高380,836

### 支出の部

項 目	8年度予算額	8年度決算額	比較増減	摘 要
1 会議費	680,000	649,080	▲30,920	総会・青年会補助、各支部会出費等
2 慶弔費	100,000	125,330	25,330	電報、饗別
3 卒業関係費	120,000	121,570	1,570	入会記念品
4 通信印刷費	1,400,000	1,785,196	385,196	新聞広告、新聞広告
5 事務費	10,000	0	▲10,000	
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 予備費	10,898	154,320	143,422	同窓会役員名簿、購入代金他
合 計	3,320,898	3,835,496	514,598	

### II. 基金

種 類	平成8年度元金	平成9年度元金	摘 要
1 秋田銀行積立	23,270,648	24,116,368	入金金745,720円(2400円×318名)
2 郵便局	6,642,000	6,668,568	
合 計	29,912,648	30,784,936	

## 同窓会経常費予算案

(平成9年9月1日から平成10年8月31日まで)

### (1) 収入

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 繰越金	380,836	592,498	▲211,662	
2 入会金	1,387,200	1,526,400	▲139,200	4,800円×289人
3 会 費	1,500,000	1,200,000	300,000	
4 寄付金	1,000	1,000	0	
5 その他	1,000	1,000	0	預金利息など
合 計	3,270,036	3,320,898	▲50,862	

### (2) 支出

項 目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	摘 要
1 会議費	630,000	680,000	▲50,000	総会等補助、各支部会出費
2 慶弔費	100,000	100,000	0	電報、饗別
3 卒業関係費	120,000	120,000	0	入会記念品
4 通信印刷費	1,400,000	1,400,000	0	新聞広告、各種印刷代
5 事務費	10,000	10,000	0	名札、リボン、のし袋等
6 寄付金	1,000,000	1,000,000	0	能代高校教育振興会へ
7 予備費	10,036	10,898	▲862	
合 計	3,270,036	3,320,898	▲50,862	

# 同窓会会務報告

(平成9年1月～平成9年11月)

- ◎1月11日(土) 新年会 (72名)  
講演会 講師 鈴木元彦氏 25期 (新7)  
演題 「雪中田植えと祈り」
- ◎1月25日(土) 藤里町松陵会 (校長)
- ◎2月3日(月) 県庁能高会新年会  
(神馬会長他2名)
- ◎2月12日(水) 能代高校四会役員会・  
監査委員会 (神馬会長)
- ◎3月1日(金) 同窓会入会式  
(飯坂誠悦副会長他2名)
- ◎3月2日(土) 能代高校卒業式・祝賀会  
(顧問佐々木満氏・牛丸副会長他多数)
- ◎3月26日(水) 能代高校送別会  
(神馬恒成会長他6名)
- ◎4月7日(月) 能代高校入学式・  
四会入会式 (花下副会長)
- ◎4月7日(月) 能代高校歓迎会 (神馬会長)
- ◎4月21日(月) 能代高校四会役員会・  
監査委員会 (神馬会長)
- ◎4月28日(月) 能代高校四会総会 (神馬会長)
- ◎6月14日(土) 北海道同窓会総会  
(花下副会長他2名)
- ◎6月18日(水) 18期生 学校訪問
- ◎7月3日(月) 県庁能高会総会  
(牛丸副会長他3名)
- ◎8月30日(土) 同窓会役員会・監査委員会
- ◎9月7日(日) 十里強歩大会  
顧問佐々木満氏スターター (同窓生3名参加)
- ◎9月18日(木) 総会当番幹事 (27期・37期)  
打合せ会 (7名)
- ◎9月20日(土) 13期生 学校訪問
- ◎9月26日(金) 同窓会総会 (62名)
- ◎10月3日(金) 東京同窓会 (神馬会長他4名)
- ◎10月17日(金) 秋田支部総会 (神馬会長他2名)

## 気力、体力の限界に挑む

能代高校伝統の10里強歩  
暗やみの中一歩ゴールへ



佐々木 議員がスターター 記念50回



十里強歩スターターの佐々木満先生



学校訪問した13期生の皆さん



### 変なハガキにご用心

皆さんの所へ「能代高校同窓会名鑑」を発行するという事で調査カード付きのハガキが行っていませんか(上図)

これは本校同窓会とは一切かわりありません。ご用心下さい。